

「松山の授業モデル」とICT活用（図画工作科）

学習場面 (松山の授業モデル)	ICT活用例
<p>■ 学習課題の設定</p> <p style="text-align: center; background-color: #800000; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">習得・活用・探究</p>	<p style="background-color: yellow;">感じたことや想像したことなどを造形的に表す場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置や学習者用コンピュータに、画像、動画などを拡大したり書き込んだりしながら提示したりすることにより、提示内容を視覚的に分かりやすく伝えたり（A1）、学習の見通しをもつようにしたり（A1）、児童が興味や関心をもつような導入の資料をICTで作成し、効果的に提示したり（A1）することができる。また、材料や用具の扱いについて指導する際に、どの児童からも細部が見えるように学習者用コンピュータや大型提示装置などを用いて、方法や実演の映像を分かりやすく伝えることができる（A1）。 ・造形遊びをする活動において造形的な活動ができそうな場所を探すときに、候補の場所をデジタルカメラやタブレット型の学習者用コンピュータで撮影し、グループで相談する際の資料とする（B4、C1、C2）。  <p style="background-color: yellow;">作品などからそのよさや美しさを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ大型提示装置や学習者用コンピュータなどに美術作品などの映像を取り込んでおき効果的に提示することが考えられる（A1）。 ・インターネットなどを用いて美術作品についての情報収集をしたり（B2）、生活の中の造形をタブレット型の学習者用コンピュータなどで撮影し、話し合う際の資料としたりすることができる（C1、C2）。
<p>■ 交流し考える学習</p> <p style="text-align: center; background-color: #808000; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">交流・表現・体験</p>	<p style="background-color: yellow;">感じたことや想像したことなどを造形的に表す場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や自分たちの活動をデジタルカメラやタブレット型の学習者用コンピュータで撮影することで、更に新たな発想や構想をすることのきっかけにする（B4）ことができる。 ・絵や立体、工作に表す活動において、デジタルカメラやタブレット型の学習者用コンピュータでコマ撮りした画像をコンピュータで編集し、アニメーションをつくる（B3、B4、C1、C2、C3）ことなども考えられる。  
<p>■ 学習の振り返り</p> <p style="text-align: center; background-color: #FF8C00; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">内容×方法</p>	<p style="background-color: yellow;">感じたことや想像したことなどを造形的に表したり、自分の見方や感じ方を深めたりする場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の写真を記録・再生したり、まとめたりしながら活動を振り返る（B1、B4、C1、C2）ことなどができる。 